〝貧困と戦争〟考える

「大阪希望館」感動の最終公演

戦後大阪の一時保護施設を舞台にしたミュージカル『大阪希望館』が四月下旬、波除の石炭倉庫などで上演され、好評でした。

あんがいおまる一座とごくらくとんぼ一座が合同上演。直木賞作家難波利三さんの原作を綾羽一紀さんが脚本、あんがいおまるさんが演出。十三年前から八十回以上演じられ、今回が最終公演となりました。

★涙と笑いの人間ドラマ

―戦争の傷跡も生々しい昭和二十二年。一人でも多くの人を食べさせようと、強引なやり方で大阪駅高架下の「大阪希望館」を運営する館長。その人間性に惹かれて仕事を手伝いながらも、ある事件をきっかけに反発を強める青年。二人を軸に、戦争の影を引きずる人々（戦争で家族を失った館長や館員、被爆経験を持つ婆さん、空襲のショックで言葉をなくした女性など）の涙と笑いのドラマ（活動に干渉する進駐軍、劣悪な病院へ移された子供らの死、淀川で希望の凧揚げなど）が進行する―。

★「あの頃思い出そう」

全体を通じて、ロングラン上演ならではの役者の落ち着いた情感溢れる演技が観る者を六十数年前へと引き込み、「金の不況が心の不況になった現代日本。貧しくとも助け合い、希望を持って生き抜いたあの頃を思い出そうよ」と呼びかけてくるような舞台でした。

冒頭で様々な戦争体験が語られ、ラストでも「戦争は繰り返されている」とのナレーションが流れるなど、これまで以上に反戦平和に重点が置かれていたのも印象的でした。快活な主題曲と美しい劇中歌は、極貧下でも笑いや愛を失わない人々の心を表現。「どこが政権とってもおんなじや―」など今に通じる風刺的台詞の挿入も効果的でした。

戦後混乱期にたくましく生きる人々を描いた『大阪希望館』（写真㊤はワッハホール、㊦は石炭倉庫で）

●ユニット・人間やろか『あんたの顔は個人情報そのものやんか』　社会の現状をぼやく老若男女六人が「喜劇タッチで世の中のこと考えてもらお」と昨年二月に旗揚げした劇団による第三弾。何かと言うと「個人情報やから…」とガードを固める昨今の風潮を風刺。六月二十六日（土）十四時、十六時半、同二十七日（日）十三時、十五時半の四回。前売千八百円、当日二千三百円、小学生以下千五百円。問合せ・申込は会場の石炭倉庫（波除六―五―一八、JR弁天町駅から国道四三号を北へ直進、安治川堤防突当り右すぐ。☎六五八一―〇六六四）へ。

おじゃましま～す　サークル訪問

港区老人福祉センター　俳句同好会

自由で真剣な雰囲気の中で俳句づくりを楽しむ俳句同好会の皆さん

「うたた寝の　妻の寝息や　春障子」「踏青や　母の影追う　二歳の子」―。ノートに書き写された句は全て会員の作。それらからお気に入りを選ぶ作業の真っ最中です。ピンと引き締まりながら、しかし柔らかな、不思議な空気が漂います。ここは港区老人福祉センターの一室。「俳句同好会」（山田勝彦会長）の例会です。

◆推敲にかける真剣さ

同会は二十年以上前に発足。同センターの登録者なら誰でも入れます。会費はなし。例会は毎月第二・四金曜日の午後一時から。会員は現在十人です。

例会では前回に皆で選んだ季語（又は自由題）に基づいて作った句（一人三句以上）を持ち寄り、その場で各人のお気に入りを選び、感想や批評を交えながら順番に発表していきます。

取材に訪れた四月二十三日の季語は「春障子」又は「踏青（野遊び）」。誰の発表にも挙がる句もあれば、一人だけが挙げる句も。同じ句でも人によって受け止め方が違うのが分かります。

また、この日は「踏青や　駆けては転ぶ　園児たち」の「たち」を「かな」に直した方がよいかどうか、「飛行機雲　湧き出でて消え　青き踏む」の「湧き出でて消え」を「先は消えゆき」などに直した方がよいかどうか―などで意見が交わされました。推敲にかける真剣さが伝わり、こちらも思わず考え込んでいました。

そしてこの日の一番人気は「音がして　影絵の走る　春障子」。幼い孫の動きを春先の穏やかな光の中に捉えた女性の作。キャッキャッという歓声まで聞こえてきそうで、孫への想いが短い十七音に籠っているのが感じられました。

五七五の制約楽しむ

季節や自然を敏感キャッチ　率直批評で磨き合い

◆健康や呆け防止にも

こうした俳句作りの魅力はどこにあるのでしょう。

異口同音に語られたのは、「五・七・五に納める、季語を入れる、切れ字（や、かな等）は一句に一つ―という決まりの中で作ることが、苦心する所でもあり面白い所でもある」ということです。また、俳句をやるようになって「辞書をよく引くようになった」「自然や季節の変化に敏感になり、雨の降り方の違いにも気を留めるようになった」などの声も挙がりました。

さらに、皆で集まって俳句を楽しむことの効用としてこんな声も。「詠む人の気持ちと聴く人の受け止め方が、一致する時もあれば違う時もあるのが面白い」「批評を自由に言い合えるのが楽しく、刺激になる」「皆の前で声に出して詠むのが健康にいいし呆け防止にもなる」等々。納得です。

◆経験も実力もまちまち

会員の在籍年数は山田会長の十八年から三年までと様々。「季語に対してまだ受け身で作ってる」という人もいれば、全国大会で特選に輝いた実績の持ち主も。そんな経験も実力もまちまちの会員が和気あいあいと、しかし真剣に学び合う―最初に感じた不思議な空気の理由が分かりました。

同会についての問い合わせは☎六五七五―一三六八港区老人福祉センターまで。「興味ある方の見学、歓迎します」（会員一同）。

文化短信

●弁天町駅前のうたごえ喫茶人気　昭和三十～四十年代に一世を風靡した「うたごえ喫茶」が弁天町駅前に復活し、人気を集めている。店の名は「うたごえ倶楽部ねこじゃらし」。四月末には港晴や築港の男女が「北上夜曲」「ゴンドラの唄」「早春賦」などをピアノやアコーデオンの伴奏で歌った＝写真。「皆で声を合わせるのが楽しい」と感想。昼の部（土曜の十四～十六時、千円）と夜の部（金曜の十九時～二十一時半、日曜の十八時～二十時半、千五百円）。いずれも一飲物付。波除五―七―六（JR弁天町北口歩二分）。☎六五八一―八七六〇。http://music.geocities.jp/club_necojyarasi/

芸能ミニ情報

●三先出身の歌手・香西かおりさん　五月五日『春陽炎』『愛憐歌』（いで　はく作詞・鈴木淳作曲）発売▽五月十六日（日）十二時十五分NHKのど自慢▽六月一日（火）二十時NHK歌謡コンサート▽かおり倶楽部http://kouzaikaori.com/

香西かおりさん

●港南中出身の歌手・川奈ルミさん　四月十一日、港区のホテルでディナーショー開催。故郷のファンにオリジナル曲や得意のラテンナンバーを披露した▽新曲『東京大陸』『火の鳥』好評▽H&Cミュージック☎〇三―五三九七―六七六七。

川奈ルミさん

●磯路在住の歌手・松浦ゆみさん　新曲発表ディナーショーを四月四日に上六のホテルで開催。『涙のラブ・バラード』『みなと唄』『平戸ブルース』『平戸…哀しみを抱いた町』の四曲を同時発表▽Mプロモーション☎六五七七―六七〇一。

松浦ゆみさん

●弁天在住の歌手・青木美香子さん　五月二十二日、二十八日の十四、十六、十八時から上本町ハイハイタウンでミニコンサート（無料）▽CD『ありがとう～おかあさん～』好評▽☎六七七〇―六七五〇アップフライトエージェンシー。

青木美香子さん

賭けない！飲まない！吸わない！
健康　マージャン教室
◆入門～中級まで親切指導！
◆女性・高齢者・初心者歓迎！
◆毎週㊐㊋㊎13～17時開講
1回1500円、11回15,000円
マージャンひろ　磯路3-25-3 喫茶おき2F　☎6574-6643

本のことなら…
㈱オリオン書房
港区全域配達！電話かFAXでご注文下さい
八幡屋2-6-101 南朝潮コーポ商店街　TEL FAX 6571-2204

行楽にはビン生だ
なにわの銘水で造った地ビール
1本330㎖ 410円
1箱6本入り 2,280円
贈答、パーティ、キャンプ等に！
全国発送OK（送料別途要）
★ピルスナーとメルツェンの2種あります★
市岡ビール工房
地底旅行
営業時間　平日 午後5時～11時　日祝 午後4時半～9時　定休 水曜日
お問合せ　南市岡3-6-26田中機械内　☎6581－3898
至弁天町　みなと通り　至大阪港　43号線　すし半　繁栄商店街　ヘアサロン　至境川　貨物線跡　高層マンション　尻無川筋　赤バス南市岡3

リニューアル キャンペーン
初めての方はオールメニュー 30%off（着付除く）
ヘッドスパ 50分コース 4200円 半額 2100円
フェイシャル 60分コース 6300円 半額 3150円
まつ毛カールはじめました
縮毛矯正 平日半額
Hair&Esthe SPA
市岡1-1-27みなと通り りそな銀行斜め前
受付電話 ☎6574-4444
営業時間 AM9:00～PM7:00 〈月曜定休〉
http://www.scoop-spa.co.jp

赤ちゃん遊んでます！
～みんなキラキラしています～
基準保育　9～16時(8～18時も可)
保育料　収入や家庭事情により決定（市から補助あり）
♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪
大阪市承認　人見ベビーセンター
☎6574-3423（東條）　港区磯路2-10-1　電話はPM4:30～